



まんのう町 土砂災害ハザードマップ



仲南地区〔七箇・塩入〕

このハザードマップは、住民のみなさんが、その危険性を事前に把握し、安全に避難できることを目指したものです。ハザードマップに示されていない箇所でも災害が発生するおそれがありますので、正確な情報を入手して早めの避難を心がけてください。

保存版



土砂災害について知っておきたいこと

■ 雨の降り方と土砂災害の種類

洪水や土砂災害が心配される台風や集中豪雨のときは、雨の降り方で危険性がわかります。降水量によって、河川ははん濫や土砂災害が発生する可能性がありますので雨の降り方に注意が必要です。また、勾配の急な山やがけの多い日本は、土砂災害が発生しやすい地形的な特徴をもっています。

激しい雨

1時間に30～50mm

非常に激しい雨

1時間に50～80mm

猛烈な雨

1時間に80mm以上

大雨・洪水注意報

大雨・洪水警報

特別警報

土砂災害の種類と特徴

山崩れ・がけ崩れが起きやすくなる

土砂災害の種類と特徴

土砂災害の種類と特徴

■ 安全に避難するためのポイント

雨に注意していますか？

土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

逃げ方を知っていますか？

土砂流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。

避難場所は決まっていますか？

普段から家族全員で、避難場所・避難する道順を決めておきましょう。災害が起きたとき、家族全員が一緒にいるとは限りません。そんな時も、あらかじめ避難場所をみんなで決めておけば安心です。

まんのう町土砂災害ハザードマップ（仲南地区）

■ 香川県まんのう町

まんのう町は、香川県仲多度郡の3町(満濃町、琴南町、仲南町)が、平成18年3月20日に合併して誕生した新町です。香川県南西部に位置し、面積は約194平方キロメートルになります。西の山間部には町名の由来にもなっている日本一の灌漑用ため池(満濃池)をはじめ、約900ものため池が点在しています。また、町の南側には標高1,000メートルを超える竜王山、大川山を主峰とする讃岐山脈が連なり、そのふもとを県下で唯一の一級河川(土器川)が流れています。

■ 災害への心構え

平成26年8月に発生した広島市の土砂災害では、複数の谷で同時多発的に土砂流やがけ崩れが発生し、甚大な被害をもたらしました。国は同年11月にこれまでの「土砂災害防止法」を改正し、国民の生命および身体を守るため、土砂災害のおそれのある区域について明らかにした上で、警戒避難体制の整備などの対策を推進しています。まんのう町でも、河川に沿って急峻な山々に囲まれた地域では、風水害による土砂災害のおそれがあります。また、地震時のため池決壊や大雨時の河川はん濫による浸水被害も予想されます。日ごろから、災害についての理解を深め災害時に必要なものや情報を備えておくことが防災・減災につながります。災害による被害を最小限に食い止め、安全な避難を行うには、地域内での助け合いが大切です。普段から、ご近所・ご家族で「避難方法」や「危険な箇所」などについて話し合い、予測の困難な自然災害に備えましょう。

日頃から災害に備えよう

■ 情報の入手先（パソコン、携帯サイト）

気象庁	パソコン	http://www.jma.go.jp/
高松地方気象台	パソコン	http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/
防災情報提供センター(国土交通省)	パソコン	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
川の防災情報(国土交通省)	パソコン	http://www.river.go.jp/
かがわ防災 Web ポータル	パソコン	http://www.bousai-kagawa.jp/
香川の砂防	パソコン	https://www.pref.kagawa.lg.jp/kasensabo/sabo/index_sabo.htm
まんのう町役場	パソコン	http://www.town.manno.lg.jp/
	携帯サイト	http://www.town.manno.lg.jp/mobile/

防災情報メール(登録無料) 避難勧告などの情報が、登録しておくだけで携帯電話のメールなどへ自動的に配信されるサービスです。<http://info.bousai-kagawa.jp/>

●音声告知放送が聞き取れない場合 携帯電話をお持ちの方は、エリアメールで告知内容をご確認ください。

■ 困ったときの対応・連絡先

●逃げ遅れた場合	あわてず2階に移動し、消防署に連絡し救助を待つ
●自力で避難できない場合	町役場・支所・自治会長・自主防災組織・民生児童委員・近所の人・消防団に連絡し、支援を要請する
●大けがをした場合	応急処置をし、消防署に電話する
●停電になった場合	電源やコンセントを切り、四国電力 丸亀営業所 0120-410-857 に電話する
●家族の安否が不明の場合	災害用伝言ダイヤル 171 などで安否確認のうえ、警察署・町役場・支所に電話する

災害用伝言ダイヤル 171 や Web171 で家族の安否を確認することができます。災害用伝言板(Web171)とは、インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板のことで、パソコン、携帯電話、スマートフォンから利用することができます。<https://www.web171.jp>

まんのう町役場	0877-73-0100	琴南支所	0877-85-2111	仲南支所	0877-77-2111	警察署	110	消防署	119
仲多度南部消防組合消防本部	0877-73-4211(代)	七箇駐在所	0877-77-2210	十郷駐在所	0877-73-5794				

■ わが家の防災メモ

避難先	名 前 (家族・親戚・知人)	緊急時の連絡先 (会社・学校・携帯電話)	生年月日/血液型
家族の 集合場所			
非常持出品の 置き場所			

まんのう町土砂災害ハザードマップ 作成/平成29年3月 まんのう町総務課 TEL 0877-73-0100 (代表) FAX 0877-73-0112

避難に関する情報／避難の心得

■ 避難情報の伝達方法

災害時には速やかに様々な手段で住民のみなさんに避難情報が伝えられます。

■ 災害時の避難行動

危険を感じたら、避難勧告などの指示や避難所の開設を待たずに、指定緊急避難場所などの安全な場所に避難してください。

台風が接近し、大雨のおそれがある土砂災害警戒区域(イエローゾーン)にいる場合は、危険を感じたら、避難勧告などの指示や避難所の開設を待たずに、指定緊急避難場所などの安全な場所に避難してください。

気象情報や警報・避難情報に注意する

危険度 低

危険度 高

非常事態

気象情報(気象庁)

注意報

警報

特別警報

土砂災害警戒情報

避難準備・高齢者等避難開始

避難勧告

避難指示(緊急)

「立ち退き避難」をおこなうタイミングは？

気象情報、避難情報や前兆現象などをもとに、早めに避難しましょう。

例) 避難勧告が発令された場合、必ず避難する。

・指定緊急避難場所まで速いので、避難準備・高齢者等避難開始が発令された時点で避難を開始する。

・足が悪いので、警報が出た時点で町役場や支所に電話し、早めに自主避難する。

立ち退き避難(基本)

災害が発生する前に、土砂災害警戒区域の外にある指定緊急避難場所などの安全な場所へ避難する。

逃げ遅れた場合

屋内安全確保(緊急時)

建物の2階以上など、浸水や土砂が流れ込む恐れのない上層部など、屋内の少しでも安全な場所へ避難する。

特に土砂流が想定される場所では、危険なエリアから離れるか、近くの丈夫な建物の上層に避難する。

避難勧告・指示・警報の解除

自宅が被災して帰宅することができない。

帰宅する

避難所や知人の家へ

ほとんどの指定緊急避難場所は、避難生活を送る避難所として利用可能。

指定避難所

被災者が避難生活を送るための避難所

指定緊急避難場所

災害の危険が一時的に逃れるための避難場所

土砂災害は、いつ起こるか分かりません。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識と自分が住んでいる土地についての知識を得ておくことが大切です。土砂災害の前兆現象にも気を付けて、避難の判断をしましょう。

土砂災害の主な前兆現象

●がけから出るわき水がにごる

●斜面に割れ目、変形がある

●がけから小石が落ちてくる

●地下水やわき水が止まる

●がけから木の根が切れるなどの音がある

●川の流れがにごり、流木が漂い始める

●雨が降り続いているのに、川の水位が下がる

●山鳴りがする

●樹木が裂ける音や石がぶつかり合う音がする

●腐った土のにおいがする

●地面にひび割れができる

●斜面から水がふき出す

●沢や井戸の水がにごる

●家やよう壁に亀裂が入る

●山鳴りがする

●樹木が裂ける音や石がぶつかり合う音がする

■ 土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報とは、大雨警報発表中に土砂災害の危険度が高まった際、香川県と高松地方気象台が市町ごとに発表する防災情報です。土砂災害のおそれがある時の早めの避難に活用しましょう。

発表対象地域

市町村単位で発表

土砂災害警戒情報文の内容

文章と図による内容

発表および解除

香川県と高松地方気象台が協議

土砂災害警戒情報が発表されたら

・土砂災害警戒情報の発表は、避難行動を開始するタイミングの目安です。

・町が発表する避難勧告などにも注意し、いつでも行動できるように心構えましょう。危険を感じたら自主的に避難することも重要です。

■ 避難の心得

安全な避難経路の確認を!

●事前に確認しておく

●河川やがけの近くを通らない

非常持出品の事前準備を!

●定期的に中身を確認

正確な情報収集と自主的な避難を!

●電気・ガスの火元の確認

●親戚や知人に避難することを連絡

ただちに避難を!

●避難勧告

●避難指示(緊急)

●危険を感じたら

動きやすい服装 2人以上で避難を!

●2人以上で避難

●リュックサック

●長袖、長ズボン

車での避難は控え、徒歩で避難を!

●交通渋滞

●浸水による故障

●緊急車両の妨げ

災害時に援護を必要とする人に協力を!

●高齢者

●乳幼児

■ 非常持出品

非常持出品は、夜間時の避難を前提に、足元を照らす懐中電灯をはじめとして、替えの下着なども必要となります。過去の避難の教訓から、緊急の避難でない場合は、非常食(おにぎり1食分程度)を自分で用意する心がけが必要です。

非常持出品チェックリスト

食料品

●飲料水

●非常食

衣類など

●下着・上着

●タオル

●洗面用具

貴重品

●預金通帳

●印鑑

●現金

安全対策・その他

●常備薬

日用品など

●懐中電灯(予備電池・電球)

●持出品は、欲張ると避難の妨げになる場合があります。

●持出品は、必ず「開けられ困るもの」を用意し、常に身近においておきましょう。

●次「あれは便利なもの」を用意し、普段の生活の中に組み込んでおきましょう。

小さな子どもや高齢者の方が居る家庭では

●粉ミルク・ほ乳瓶

●離乳食

●流動食

●紙おむつ

ペットの居る家庭では

●ケージ

●ペットフード

●ふん尿の始末用品

・非常食や飲料水の備量は、家族全員3日分を備蓄しておきましょう。
飲料水は一人1日3リットルが目安です。小さな子どもや高齢者の方の食料なども用意しておきましょう。
・ペットが居る家庭では、ペットフードやふん尿の始末用品を用意しておきましょう。